

派遣労働者の健康管理の 実態とそのニーズ

静岡産業保健推進センター
巽あさみ、鎌田隆、秋山泉
住吉健一、青山京子

はじめに

非正規雇用者数は全労働者の3分の1に達し、そのうち派遣労働者は321万人を超えている(厚生労働省.2007)。派遣労働者の健康管理については労働安全衛生法等に規定されているが浸透していない実態が想定され、現場ではさまざまな問題が発生していると考えられる。

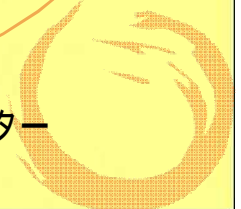
目的

派遣先事業所、派遣元事業所、
派遣労働者の健康支援状況を
把握し、そのニーズを明確に
することを目的とした。



対象者

- S県内の派遣先事業所の労務管理者
52事業所（回収率59.8%）
- 同、派遣元事業所の産業保健スタッフまたは労務管理者 119事業所（回収率66.1%）
- 同、派遣労働者 男:418人、女:433人、計854人（回収率56.9%）



調査方法

- 産業保健推進センターの派遣先事業所名簿により把握した派遣元事業所、派遣労働者を対象とした。
- 質問紙調査を実施
- 調査は無記名とし、回答については自由意思とし、派遣先事業所、派遣元事業所には直接送付し、派遣労働者には派遣先事業所を通して配布した。
- 回答は会社を通さずに直接産業保健推進センターへ郵送してもらった



調査内容

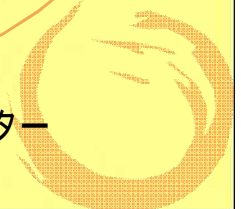
派遣先事業所及び派遣元事業所

- 属性
- 事業所の概要
- 健康管理に関すること

産業医の有無、健康診断実施状況、保健指導の有無、派遣労働者の健康問題発生時の対応

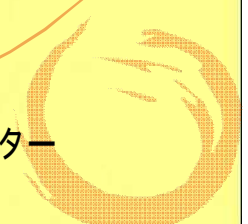
派遣労働者

- 属性
- 業務内容、収入、健康管理に関すること
- 職業性ストレス簡易調査表



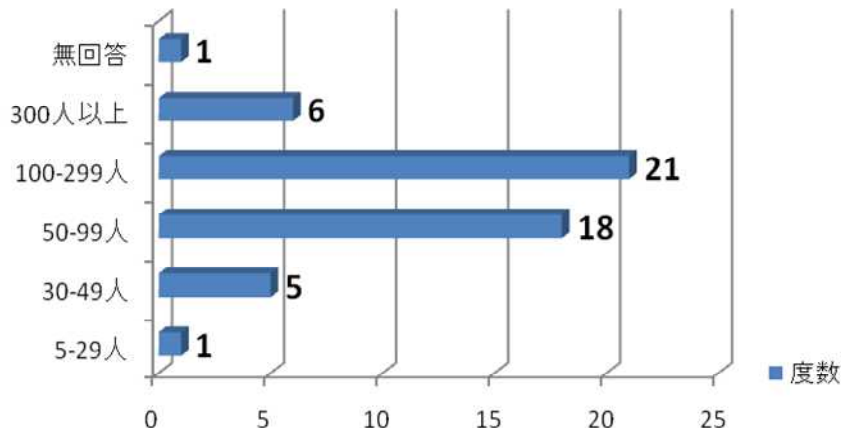
倫理的配慮

- (独)労働者健康福祉機構による研究内容審査の結果、調査許可を受けた
- 質問紙調査は無記名とし、統計学的に処理することから個人は特定されないことを文書で説明した
- 回答については自由意志であり、回答しなくても何ら不利益を被ることはないこと、回答したくない質問については回答しなくてもよいこと、回答をもってこの研究に同意とみなすことを説明した依頼文をつけて配布した
- 回答は随時各自の自由意思のもとに産業保健推進センターへ郵送してもらった

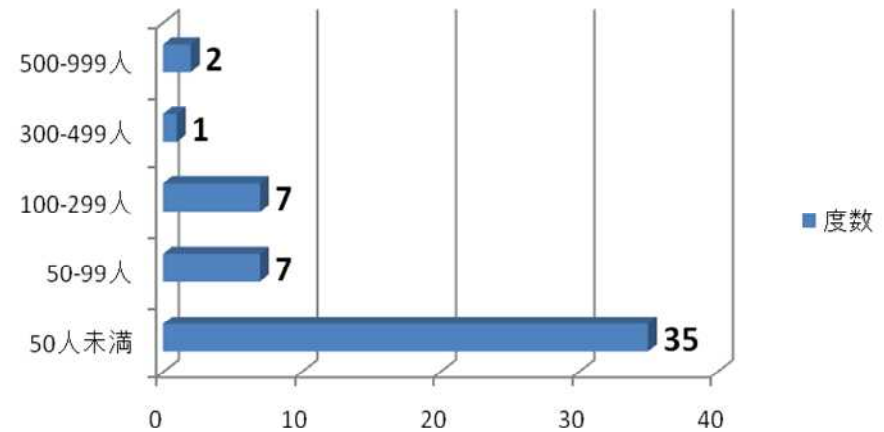


結果 1. 派遣先事業所の概要

派遣先事業所の従業員数



平均受け入れ派遣労働者数



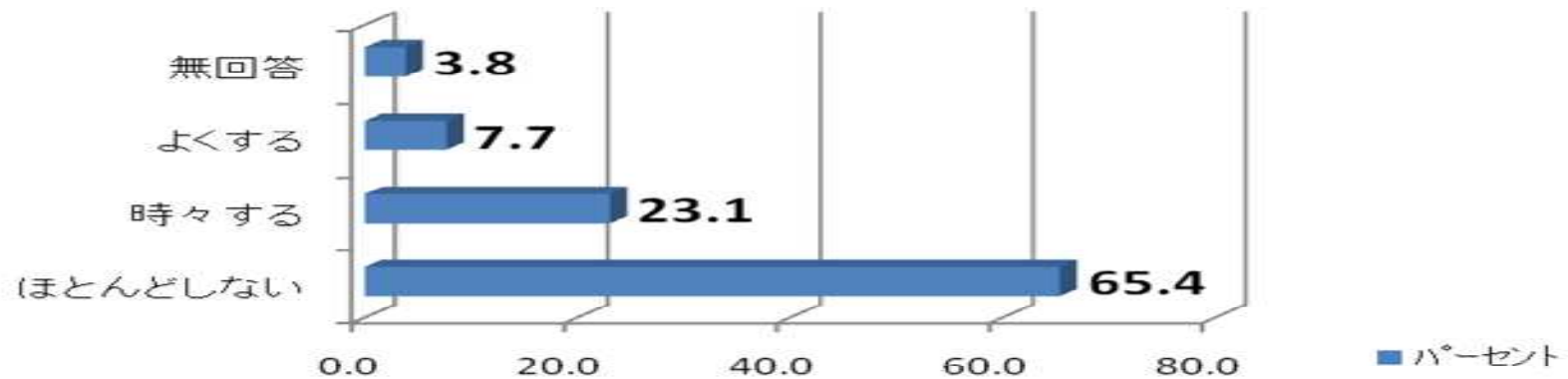
産業医について

	度数	パーセント
専属(常勤)産業医	2	3.8
嘱託産業医	44	84.6
選任していない	6	11.5
合計	52	100

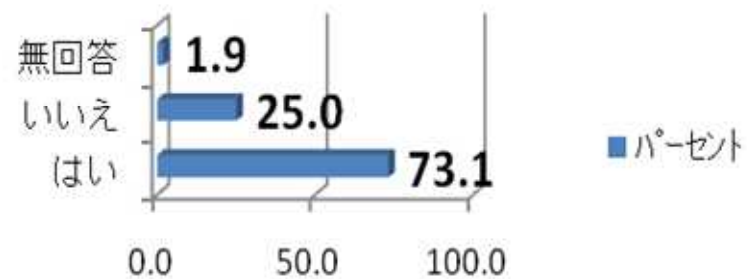
特殊健診の実施(有害業務有)

	度数	パーセント
はい	16	69.6
いいえ	7	30.4
合計	23	100

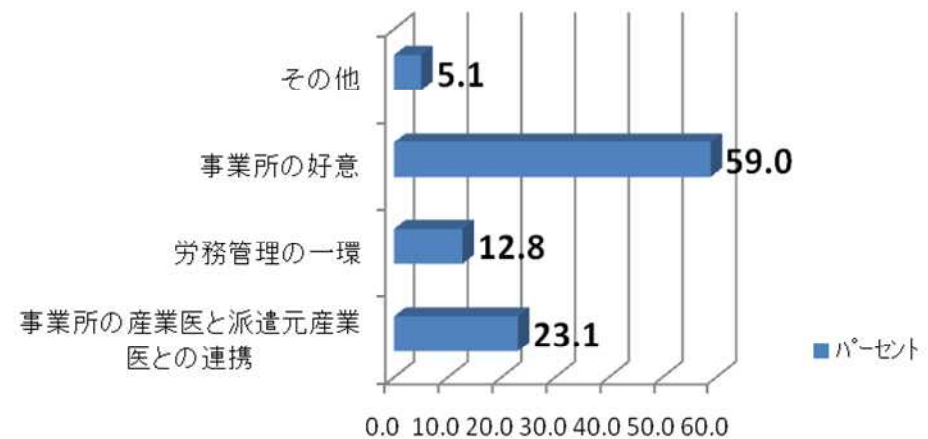
受け入れ時の派遣労働者の健診結果などの情報要求



派遣労働者健康問題発生時対応の可否

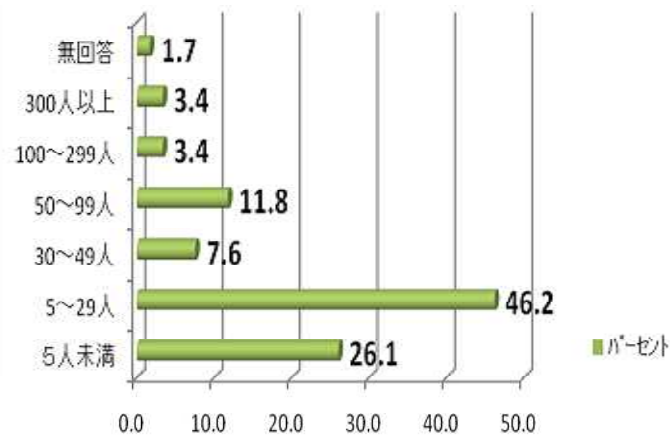


対応できる理由

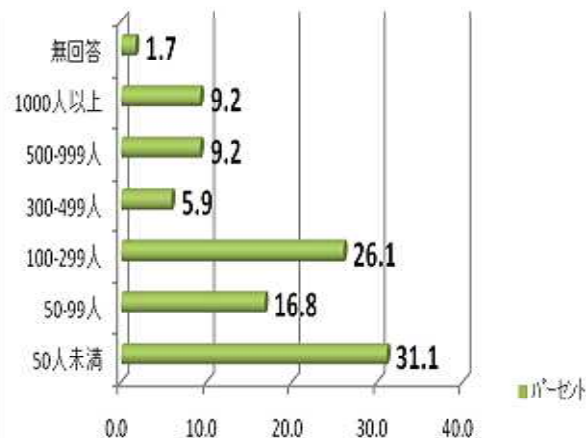


2. 派遣元事業所の概要

派遣元事業所の従業員数



登録(雇用)している派遣労働者



派遣事業所の種類

	度数(社)	パーセント
登録型	39	32.8
常用派遣	51	42.9
両方	27	22.7
わからない	2	1.7
合計	119	100

産業医の有無

	度数	パーセント
いる	63	52.9
いない	56	47.1
合計	119	100

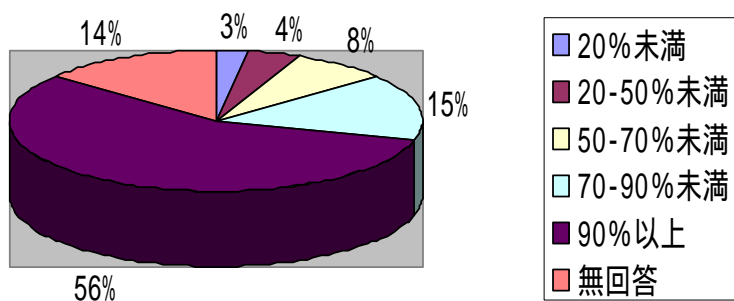
派遣時に派遣先から派遣労働者の健診結果の情報の提供を求められることがあるか

	度数	パーセント
ほとんどない	68	57.1
時々ある	37	31.1
よくある	12	10.1
無回答	2	1.7
合計	119	100

派遣労働者に年1回の定期健康診断を実施しているか n=119

	度数	パーセント
はい	113	95.0
いいえ	5	4.2
無回答	1	0.8
合計	119	100

定期健診の受診率

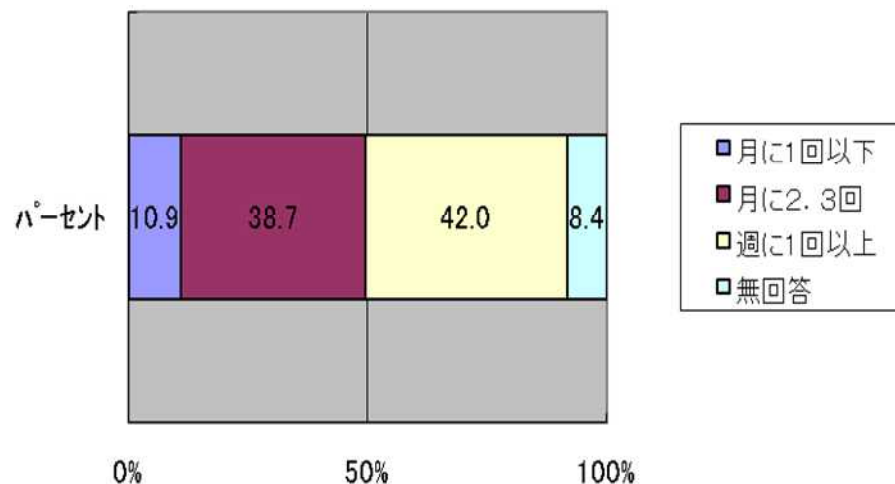


静岡産業保健推進センター

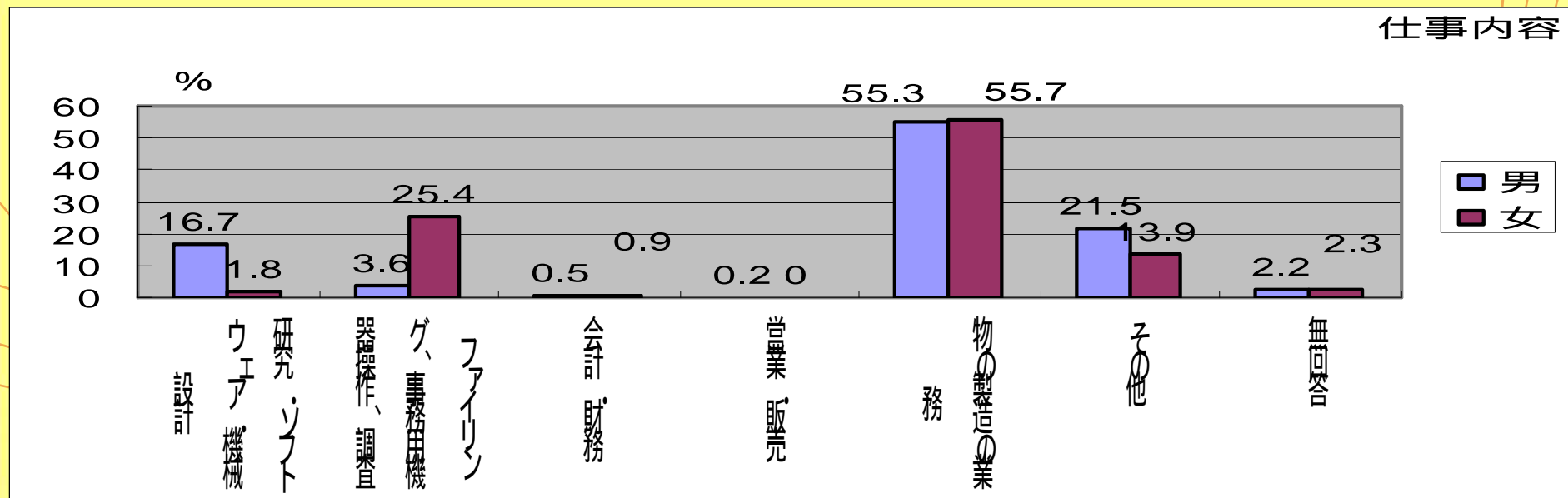
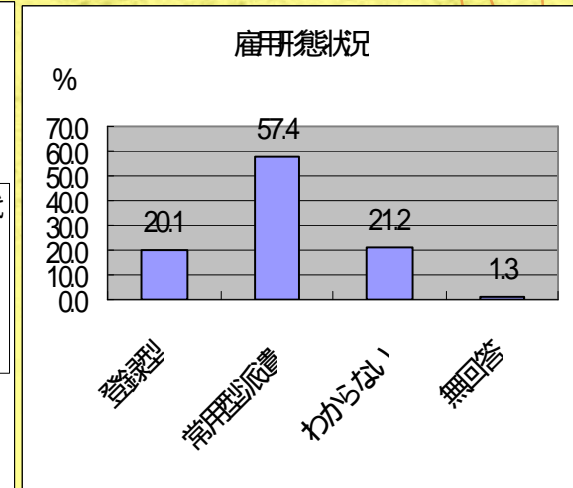
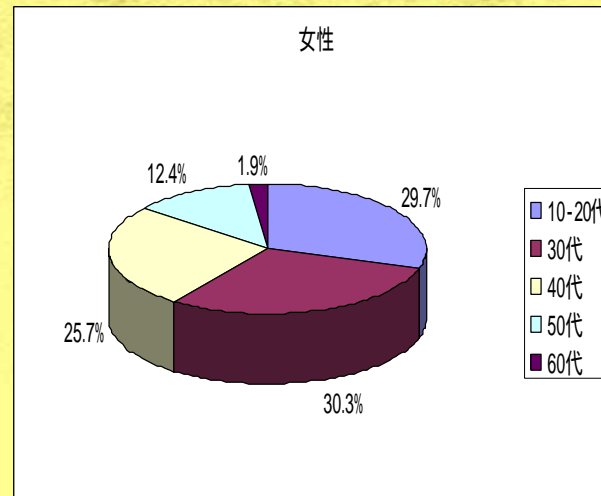
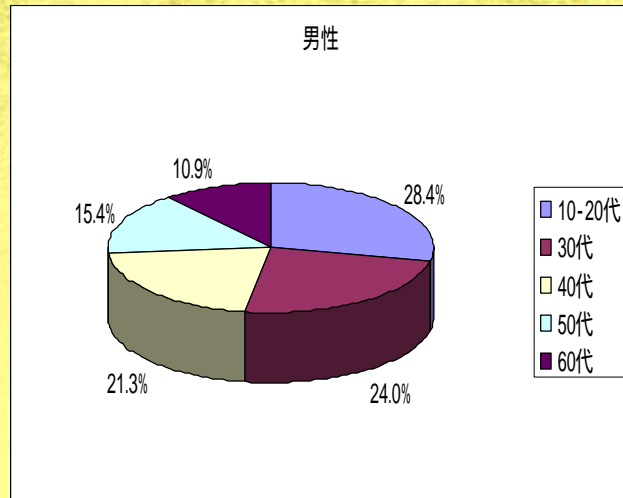
保健指導を実施しているか

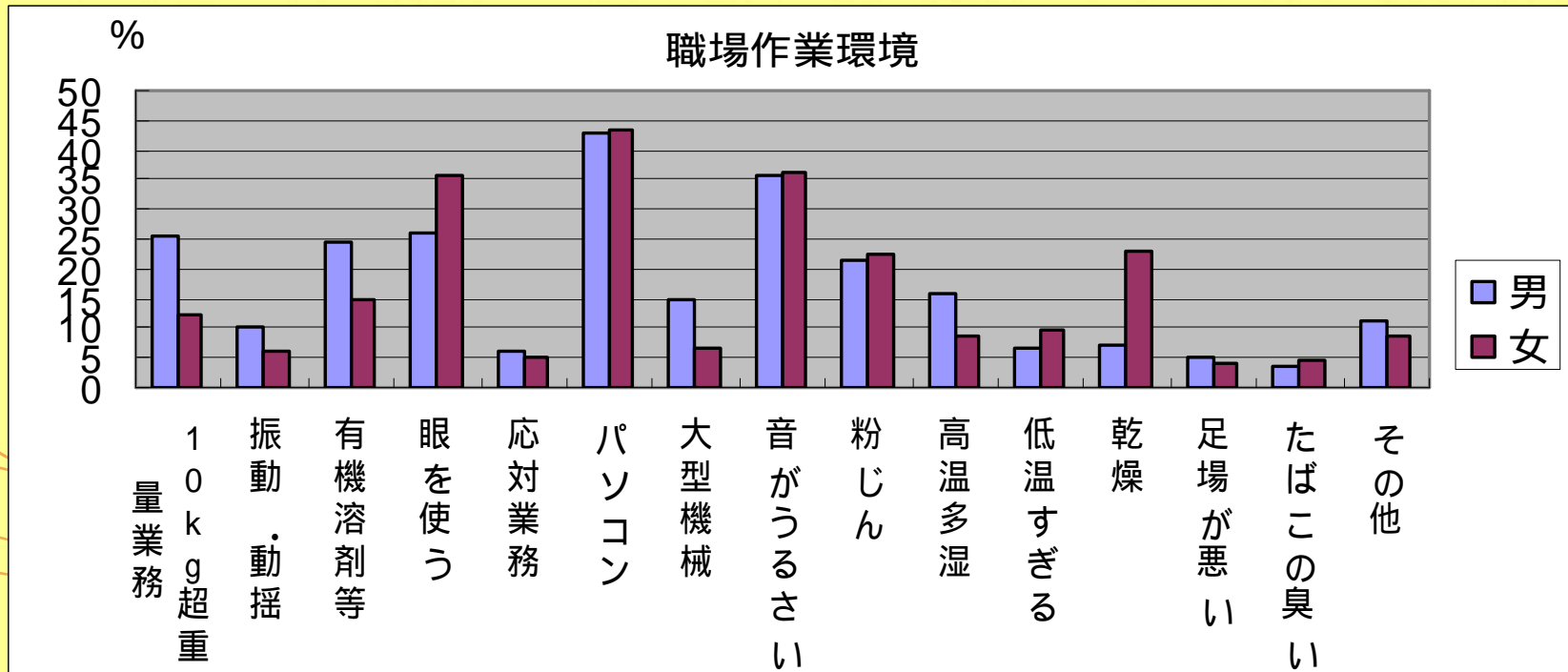
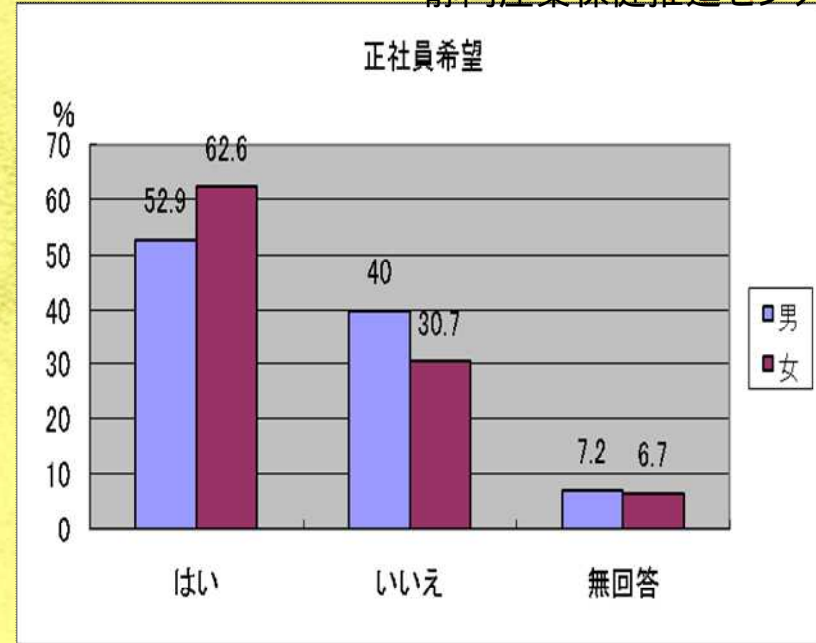
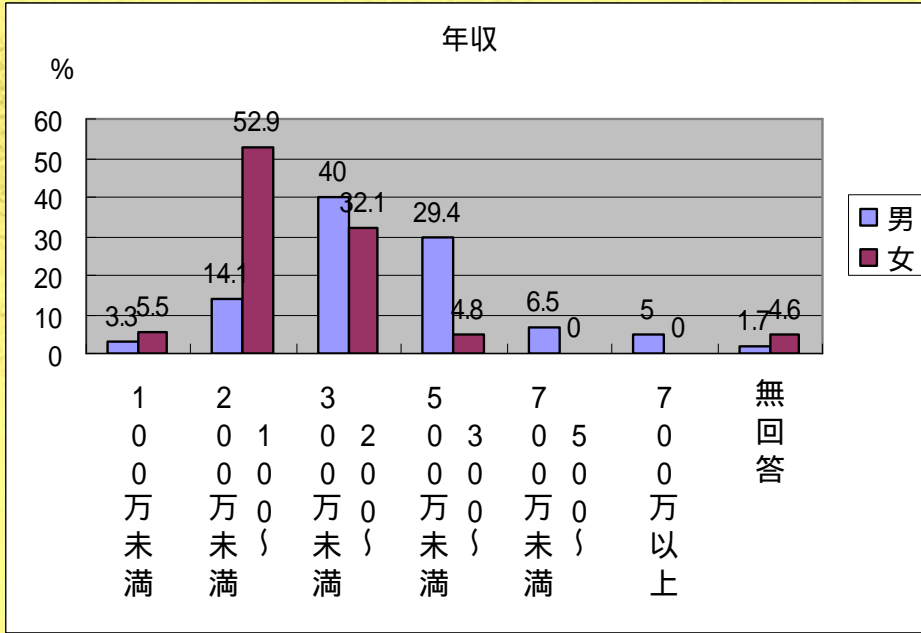
	度数	パーセント
はい	62	52.1
いいえ	37	31.1
無回答	20	16.8
合計	119	100

派遣労働者との連絡



3 . 派遣労働者





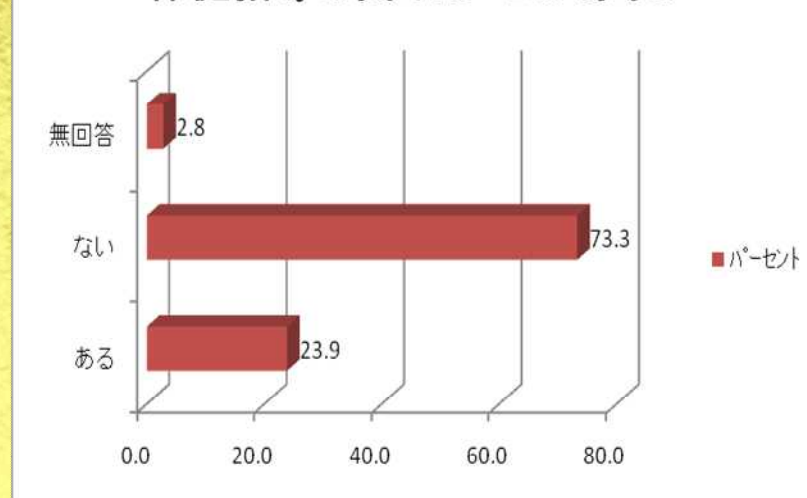
定期健診を受けているか

	度数	パーセント
はい	712	83.4
いいえ	134	15.7
無回答	8	0.9
	854	100.0

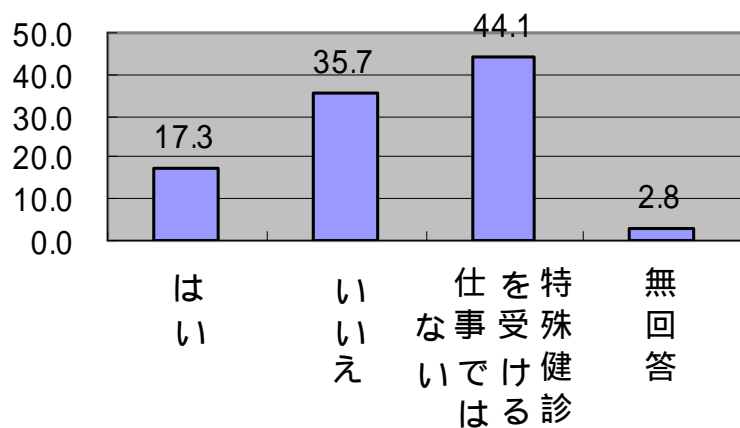
健康について困ったことがあるか

	度数	パーセント
はい	241	28.2
いいえ	596	69.8
無回答	17	2.0
	854	100.0

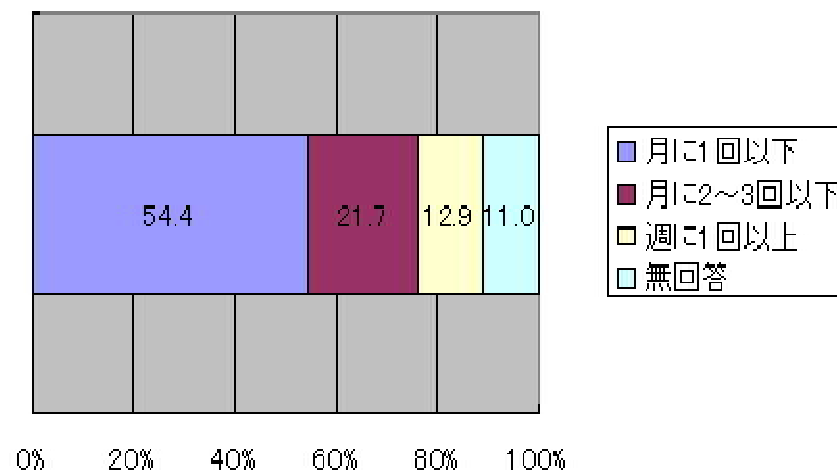
保健指導は受けたことがあるか



特殊健診受診の有無



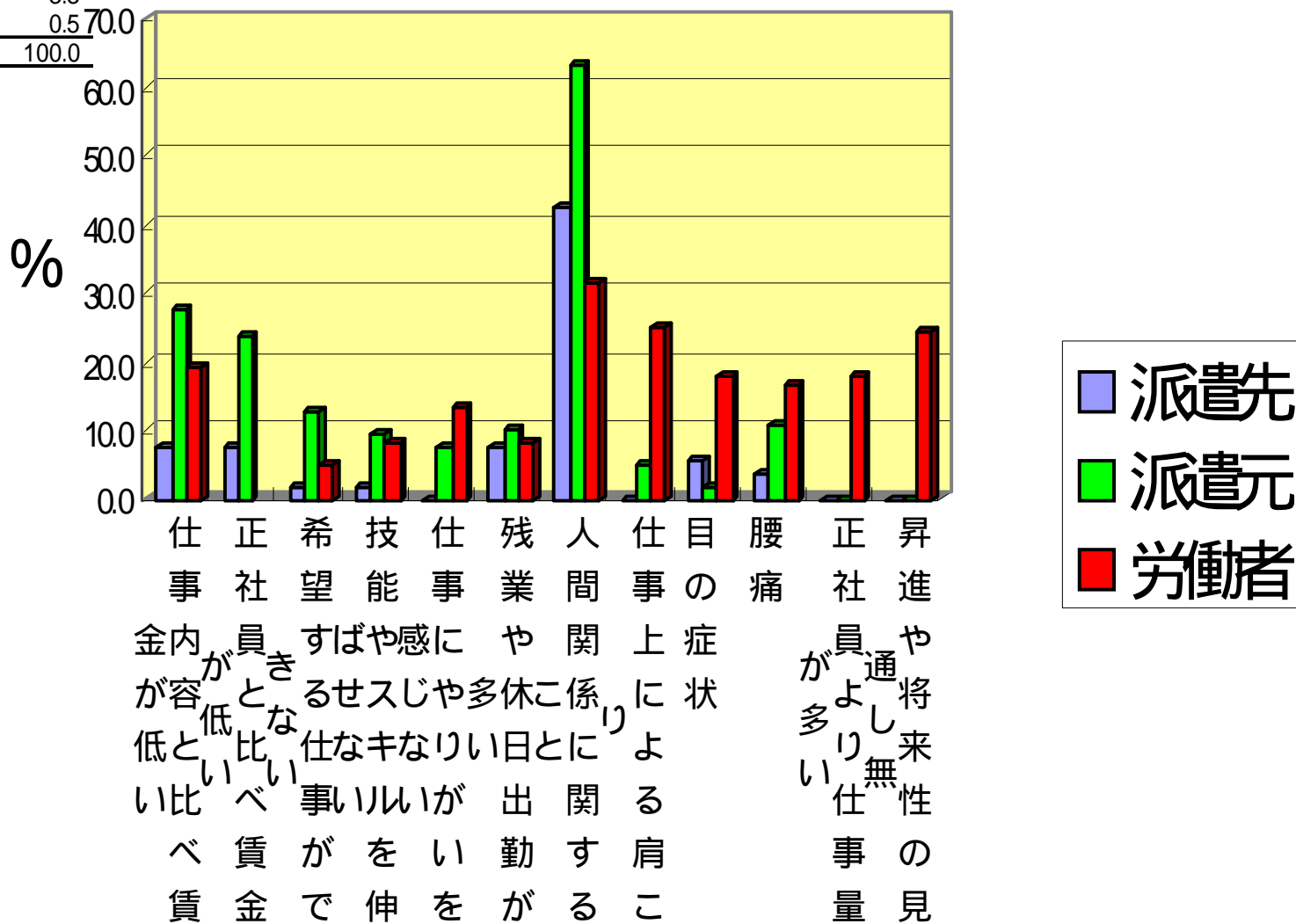
派遣元担当者との連絡



仕事や職場でストレスを感じるか

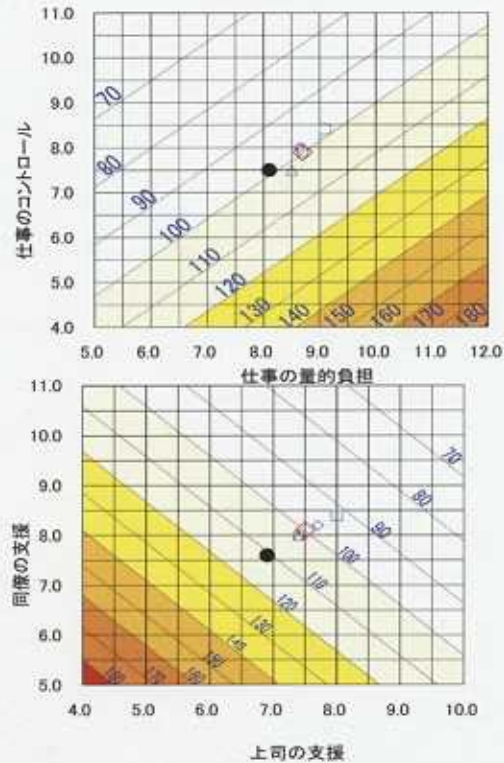
	度数	パーセント
とても感じる	139	16.3
感じる	441	51.6
余り感じない	242	28.3
全く感じない	28	3.3
無回答	4	0.5
合計	854	100.0

相炎内容 ストレスの理由など



仕事ストレス判定図

簡易調査票用仕事のストレス判定図
(男性用)

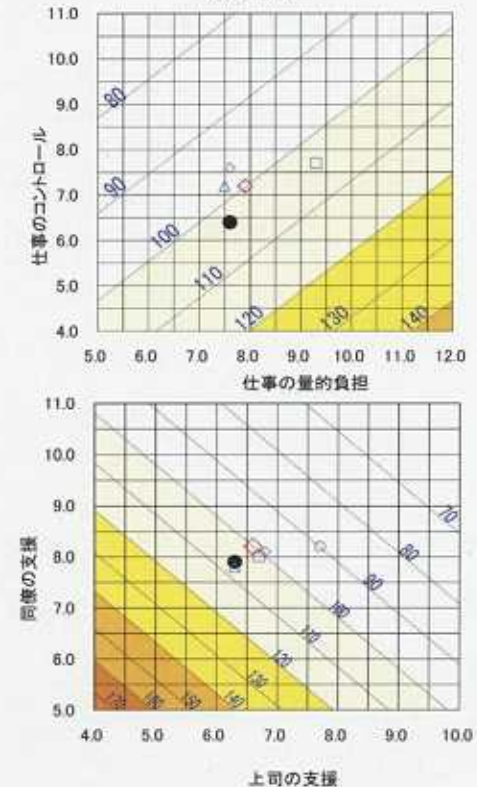


参考値
◇全国平均 □管理職 ○専門職 ◇事務職 ▲現場職

職場名	派遣労働者	人数	373名
量的 負担	8.1	量-コントロール判定図	総合健康リスク
コントロール	7.5 (A)	98	(A)x(B)/100
上司の 支援	6.9	職場の支援判定図	
同僚の 支援	7.6 (B)	111	108

作成日:2008/9/28

簡易調査票用仕事のストレス判定図
(女性用)



参考値
◇全国平均 □管理職 ○専門職 ◇事務職 ▲現場職

職場名	派遣労働者	人数	390名
量的 負担	7.6	量-コントロール判定図	総合健康リスク
コントロール	6.4 (A)	103	(A)x(B)/100
上司の 支援	6.3	職場の支援判定図	
同僚の 支援	7.9 (B)	106	109

作成日:2008/9/28

考察及びまとめ

- 事業所における派遣労働者数を含めた従業員数を勘案すると派遣先・派遣元事業所ともに産業医選任の現状が不十分ではないかと考えられる。
- 定期健康診断・特殊健康診断の実施及び保健指導の実施は不十分な状況であり、また派遣労働者自身の健康診断に対する認識も低く、課題であると考えられる。
- 派遣元・派遣先間の派遣労働者に関する健康情報の交換等の連携は確実に進行しつつあり、そのための新たな適切な仕組みづくりが必要であると考えられる。
- 健康問題を有する派遣労働者のサポートや相談先が十分確保されていないと考えられる。
- 派遣労働者のメンタルヘルスの現状は、同僚や上司のサポートが少ないことが課題と考えられる。

